

# 「なかま」編集委員としてお手伝い

- 1) お手伝い内容 紙面構成・編集 (word 使用)
- 2) お手伝い期間 約 10 年間
- 3) 発行頻度 3 回/年
- 4) ページ数 4 頁
- 5) 会報内容 社会福祉協議会に登録されているボランティアグループへのお役立ち情報や行事予定の告知等



# なかま

平成24年7月31日

第60号

発行 日立市ボランティアグループ連絡会  
 事務局 日立市社会福祉協議会  
 〒317-0076 日立市会瀬町 4-9-13  
 福祉プラザ  
 電話 0294 (37) 1122 FAX (37) 1124  
 グループ数 50 会員数 1,163 人



5月24日(木)福祉プラザにおいて、33グループ70名の会員が集い、平成24年度総会が開催された。日立市社会福祉協議会・大和田進常務理事のご出席をたまわり、ご挨拶いただいた。

はじめに、平成23年度事業報告および収支決算報告と監査報告、続いて平成24年度の事業計画と予算案が審議され、承認された。そして今年度のボランティアグループ連絡会における、グループ間の相互協力、各団体の更なる発展へ向けての新たな活動展開にご理解とご協力をお願いし、議事は終了した。

休憩後のアトラクションでは、この総会での演奏が初披露となる、今年度入会の「ギタークラブ SKO」が、アコースティックギターとハーモニカの演奏で、会場を和ませた。緊張したもののリーダーのお話ではあったが、手拍子や歌声も聞こえ、アットホームな連絡会にふさわしい演奏であった。

今年も役員一同、会員みなさんのご期待に沿えるよう活動していきたいと意を新たにしました総会であった。

## 就任のご挨拶



日立市社会福祉協議会  
 事務局長 有馬 克也

日ごろから、日立市ボランティアグループ連絡会並びに各グループの皆様方には、「福祉のまちづくり」のために何かとご尽力を賜わり厚くお礼申し上げます。

このたび、4月に事務局長に就任致しました有馬でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、東日本大震災では、地震・津波・原子力発電所事故により甚大な被害をもたらしました。あれから1年余が経過しましたが、被災地では、今なお34万人を超える被災者が仮設住宅等での生活を余儀なくされている状況であり、被災者支援は、今後長期にわたるものと考えられます。

このような中、改めて、日ごろからの人々との支え合い、助け合いによる「絆」を深めていくという「地域福祉活動」の重要性が再認識されたところです。

日立市社会福祉協議会では、大震災を契機に、これまで以上に福祉コミュニティづくりに向けて、コミュニティ組織やボランティア団体、福祉関係者等との連携・協働 並びにその活動の支援に努めてまいります。

日立市ボランティアグループ連絡会の皆様方におかれましては、今後とも連携を深めながら、「みんなで築くふくしのまち日立」を推進するため、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

**ふれあいクリーンハイキング 河原子北浜海岸スポーツ広場**  
 9月29日(土)(雨天時は 30日(日)) 詳細は後日連絡